

議会運営委員会行政視察研修報告書

議会運営委員会では、令和4年3月24日に那須塩原市議会を訪問し議会運営と議会改革について視察をしてまいりました。

参加者は、福田克之副委員長、岡村浩雅委員、永井孝叔委員、石岡祐二委員、鈴木恒充委員、及び渋井康男議長、大河原千晶副議長並びに事務局職員2名、そして私、若見孝信であります。

今回の視察先は、議会改革度調査2020ランキング結果において、住民参加、機能強化への取り組みにおいて高い評価を得て、全国第13位的那須塩原市議会を選定いたしました。

基本的な視察事項としては、【「議会報告会の実施状況」と「より開かれた議会」の取り組みについて】をテーマにそれぞれ以下について研修してまいりました。

- ① コロナ禍におけるタブレットの積極的な活用について
- ② 議会への請願、陳情の取り扱いについて
- ③ 請願、陳情の意見書などの作成について
- ④ 議会内部での正副議長、正副委員長の役割について
- ⑤ 予算、決算審査の方法について
- ⑥ 通年議会のメリットについて
- ⑦ 病気などの長期議会欠席者への対応について
- ⑧ 議会と市民とのあり方について
- ⑨ 議会と執行部とのあり方について
- ⑩ 現在の那須塩原市議会でのテーマ、課題、問題点、今後の展望について

タブレットの積極的活用については、議場に集まらなくても議会運営ができるようオンライン会議の導入を進め、会議規則の改正を行っている。使用しているアプリ、ソフトのZoomとSideBooksが同時に使用が可能であると分かったため全議員に操作説明を行なう、執行部の事前説明をオンラインで行う等で、多くの議員が議場に集まらないで会議が行われている。

請願、陳情の取り扱いについては、請願、意見書戻出、陳情、要望書などで提出方法や提出内容等に応じて取扱い方法を決めて対応している。陳情に対する意見書などの作成に関しては議員が作成している。添付されている場合でも、修正等を行っている。

予算審査については、予算審査常任委員会で行っており、各常任委員会へ予算常任委員会分科会（第1～第3）として付託している。委員長は総務企画常任委員長で、副委員長は福祉教育、建設経済の各常任委員長となっている。

決算審査については、決算審査特別委員会で行っており、審査は、予算審査と同様に

行っている。

予算、決算審査とも流れは、上程された議案を議長より付託され、各常任委員会分科会において審議、討論、採決され、予算審査常任委員会全体で審議、討論、採決され、本会議で各常任委員長の報告、討論、採決といった流れとなっている。

通年議会については、令和3年5月から開始され、会期は1年間となっている。メリットとして「即時に会議を開き審議できる。」、「市政に対する監視機能、政策立案機能が強化できる。」、「市長の専決処分を抑制できる。」などとのことであります。

今回の視察を通じて、那須塩原市議会の毅然とした議会運営と議員各自の意識の高さを感じました。



※写真撮影時のみマスクを外しています。

以上ご報告いたします。